



## ブロック内中核拠点病院間における 相互交流によるHIV診療環境の相互評価 (看護師の研修ニーズ)

研究分担者 池田 和子

国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院  
エイズ治療・研究開発センター 看護支援調整職

### 研究要旨

本研究では、我が国のHIV看護の均てん化を目指し、研究協力者にエイズ治療・研究開発センターと全国8ブロック拠点病院のコーディネーターナースまたは実務担当看護師に依頼し、多彩な研修を開催していた。研修受講生は、拠点病院をはじめ、一般医療機関や透析などの専門医療クリニックに勤務する医療従事者、さらに保健・福祉・介護などの分野で患者の療養生活を支える人材の育成も行っていった。研修内容は、HIV感染症の病態や治療に加え、患者の新たな療養課題（高齢化、長期化）や感染対策・職業曝露後の対応などの情報も求められた。HIV感染症の知識不足、支援経験不足により未だに患者受け入れ体制は障壁がある。さらに医療・福祉分野の離職率は高く、情報の定着が難しい。今後も患者が持つ身体/心理/社会の課題を包括的に説明できる職種として、医療・療養体制整備のために、看護師の活動が期待されると予測された。

#### A. 研究目的

我が国におけるHIV看護の均てん化を目指す。

2014年版」、HIV/AIDSコーディネーターナーステキストVer1.0も利用する。

- 2) 募集：各施設で異なるが、郵送、サイト、メーリングリストなどで情報開示を行う。
- 3) その他：患者紹介など連携事例が発生すれば、連携先施設の患者受け入れ準備として随時柔軟に対応していた。

#### B. 研究方法

##### 1. ACC/ブロック拠点病院 HIV/AIDS担当看護師等研修

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター（以下、ACC）と8ブロック拠点病院のHIV/AIDSコーディネーターナースもしくはそれに準ずる者が参加する「コーディネーターナース会議（6月開催分）で年間計画を報告する。

資料をもとに全国の人材育成を行う。

（資料1.平成27年度ACC/ブロック拠点病院HIV/AIDS担当看護師等研修日程一覧表・案、資料2.平成28年度 同・案 参照）。

- 1) 場所・時期・期間・内容：研修受講対象者に合わせ多彩である。

使用教材として医療体制版成果物である、「HIV感染症看護 基礎研修編2012年版・2013年版・

##### 2. 中核拠点病院連絡調整員養成事業

平成24年1月に改正された後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針「第五 医療の提供一」に記載されている通り、ブロック拠点病院及び中核拠点病院への配置の推進を目標に、国の事業として開始された。

- 1) ① 研修場所 ACCもしくはNHO大阪医療センター
- ② 研修時期 原則10月からだが、ACCは要相談、分割研修可能。
- ③ 研修期間 ACCもしくはNHO大阪医療センターで4週間に加え、研修受講生の勤務地であるブロック拠点病院で2週間の計6週間。

資料1 平成27年度 ACC/ブロック拠点病院 HIV/AIDS担当看護師等 研修日程一覧表 (20150430案)

ブロック名	北海道	東北	関東・甲信越	北越	東海	近畿	中国・四国	九州	ACC
4月	北海道大学病院 5月～2月まで	NHO仙台医療センター 15日(金)	新潟大学医学部総合病院 6～12月 10病院	石川県立中央病院 15日(水)	NHO名古屋医療センター 13日(水)	NHO大塚医療センター 8日(月)～7日(火) 18日(土)	広島大学病院	NHO九州医療センター 福岡県HIV/AIDS出前研修 (随時受け付け、希望日開催) HIV感染者ケア実地研修(地域支援者1日コース) 8日(金)	
5月	北海道HIV/AIDS医療者研修会 13日(土) 北海道エイズ治療拠点病院 看護実践担当看護長会議 同日	東北ブロックHIV/AIDS出前研修(青森県中) 15日(金)	新潟県HIV出前研修 6～12月 10病院	北越HIV/AIDS出前研修 11日(木)、18日(木)	HIV/AIDS診療研修(遠年) *期間・内容は研修生と適宜相談 HIV感染症多職種合同研修会 (基盤) 28日(日) 東海ブロック中核医療機関ネットワーク会議 東海HIV研究会 27日			HIV/AIDS職員研修(看護5日コース) 15日(月)～19日(金)	1週間コース 8日(月)～12日(金)
6月									
7月		山形看護学校講義 10日(金) 東北ブロック出前研修予定 31日(金)	関東・甲信越HIV感染症看護基礎 研修 関東甲信越HIV感染症連絡 会議 8日(土)	北越ブロックHIV/AIDS出前研修 希望施設で開催～11月下旬まで 北越HIV臨床協議会 1日(土)		看護研修(初心者コース) 8日(月)～7日(火) 訪問看護研修 18日(土)			1週間コース 6日(月)～10日(金)
8月							第20回看護師のためのエイズ診療のためのエイズ研修 19日(水)～20日(木)		
9月							第30回看護師のためのエイズ診療者研修 16日(水)～17日(木)		
10月	北海道HIV/AIDS看護研修会 31日(土)	東北ブロックHIV/AIDS/HIV看護研修 未定	HIV感染者・エイズ患者の在宅・ 介護の環境整備事業実地研修 日時未定	石川県看護協会エイズ研修 1日(木)	HIV感染症多職種合同研修会 (応用) 28日(日) 東海ブロック中核医療機関ネットワーク会議 同日	HIV感染症看護実践実地研修 (1か月コース)未定		HIV/AIDS九州ブロック協議会 9日(金) HIV/AIDS職員研修(看護5日コース) 19日(月)～23日(金)	1週間コース 9月28日(月)～2日(金) 1ヶ月コース* 9月28日(月)～23日(金) 全国出張研修 2日(金)@静岡市立静岡病院 地域支援者コース 16日(金)
11月									
12月									
1月									
2月									
3月									

\*研修受講生の希望に配慮したオーダーメイド型研修  
\*1ヶ月研修 日程調整・分期で受け入れ可能

④ 研修内容 座学、実習（見学も含む）、レポート、年度末の中核拠点病院連絡会で事業報告を実施

⑤ 募集は、毎年4月以降に公益財団法人エイズ予防財団から、中核拠点病院の院長/看護部長宛に開催通知を郵送する。応募があった際に、ACCまたはNHO大阪医療センターの担当者に連絡があり調整を行う。

## C. 研究結果

### 1. 資料1. 平成27年度 参照。

結果内容は、平成28年度ACC/ブロック拠点病院看護管理者会議の内容からも特徴を抜粋したため、一部平成28年度分も報告する。

#### (医療従事者対象)

- 自施設内スタッフ向けに感染管理・医療安全・HIV研修などを開催していた。
- 拠点病院内のHIV看護担当者交代時期で、基礎編を開催するなど研修内容を工夫した。
- 拠点病院以外に透析施設対象に研修を実施した。
- 中核拠点病院を兼ねているすべてのブロックでは、「HIV感染者・エイズ患者の在宅・介護の環境整備事業実地研修」を実施した。
- 年度初めに行政と研修内容を話し合い、共同開催した。
- 行政主催または共催の研修では、保健師のみならず、ケアマネジャー、ヘルパーなど介護/福祉スタッフも対象となっていた。
- 認定看護師コース（感染管理）、専門看護師コース（感染症看護、慢性看護、在宅看護）などの講義、実習を行った。

#### (学生対象)

- 看護学生対象の講義（専門学校、大学等）を実施した。

#### (その他)

- 地域包括支援センター、社会福祉施設、グループホーム、作業所、ハローワーク、保育園、などでも個別勉強会を実施していた。

ブロックの患者像に合わせ、時期や内容を検討されていた。またブロックによっては研修前後のアンケートを集計し、評価を行っていた。

## 2. 平成28年度事業実績 0名

## D. 考察

ACCやブロック拠点病院で勤務するコーディネーターナース・実務担当看護師は、治療戦略や患者像の変化に合わせ、柔軟に多彩な研修を企画・運営し、講師を行っていた。研修受講生のニーズとしてHIV感染症の病態や治療を軸に患者さんの療養経過や感染予防対策、職業感染曝露後予防対策の内容が組み込まれるため、どの職種を対象とする研修であっても看護師が講師を担当する機会が多いことが予測された。

評価方法について各施設で実施していた。

中核拠点病院連絡調整員養成事業の参加がなかったため、来年度は積極的に研修事業を周知し、ブロック拠点病院にも協力を求め、事業に参加していただけるよう工夫する。

## E. 結論

HIV診療を実施するために看護師が必要である。地域特性に合わせ、全国で多彩な研修が開催されていた。研修対象は拠点病院にとどまらず、地域（保健/介護/福祉など）へも拡大し、今後ますます需要が増えることが予測された。実務担当看護師は数年で交替するため、多彩な研修や実施の工夫が必要だった。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

なし

### 2. 学会発表

#### 【口頭】

- 1) 阿部直美、大金美和、久地井寿哉、岩野友里、柿沼章子、大平勝美、池田和子、瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一 HIV感染血友病患者の就労・非就労に関する問題の抽出と支援の検討、第30回日本エイズ学会総会・学術集会 2016年11月 鹿児島

資料2 平成28年度 ACC/ブロッグ拠点病院 HIV/AIDS担当看護師等 研修日程一覧表

平成28年度 ACC/ブロッグ拠点病院 HIV/AIDS担当看護師等 研修日程一覧表

ブロッグ名 施設名	北海道 北海道大学病院	東北 NHO仙台医療センター	関東・甲信越 新潟大学医学部総合病院	北越 石川国立中央病院	東海 NHO名古屋医療センター	近畿 NHO大塚医療センター	中国・四国 広島大学病院	九州 NHO九州医療センター	ACC
4月									
5月	北海道HIV/AIDS出展研修～2月 11日(土) 随時受付、希望日開催	出展研修① 20日(金)：秋田大学附属病院	新潟県HIV出展研修 8～12月 10病院	北越3県出展研修 8～12月(希望日開催)	HIV/AIDS出展研修(遠征) *期間・内容は研修生と適宜相談				
6月	北海道HIV/AIDS出展研修 11日(土)				HIV感染症多職種合同研修会 (遠征) 12日(日) 東海ブロッグ中核拠点病院ネットワーク会議 (仮)東海HIV看護連絡会		第31回看護研修のためのエイズ感染症実習研修 8日(水)～9日(木)	HIV/AIDS職員研修(看護6日コース) 20日(月)～24日(金)	1週間コース 6日(月)～10日(金)
7月		出展研修② 22日(金)：施設は未定	関東・甲信越HIV感染症看護実践研修 9日(土)	石川県看護協会エイズ研修 29(金)		看護研修(初心者コース) 28日(月)～29日(火)	第32回看護研修のためのエイズ感染症実習研修 6日(水)～7日(木)	HIV感染症患者地域支援者実地研修 6日(水)	1週間コース 4日(月)～8日(金)
8月				北越ブロッグHIV看護連絡会 北越HIV看護協会 未定				福岡HIVネットワーク第38回シンポジウム 5日(金) 九州ブロッグ拠点病院出展研修会(大分県) 28日(金)	
9月		仙台医療センター看護学校校務 1日(木)		医療従事者向けHIV専門外来2日間研修(遠征) 未定		看護研修(初心者コース) 5日(月)～6日(火) HIV感染症看護実践研修 (1か月コース)28日(月)～ ～10/21(金)			1週間コース 5日(月)～9日(金) アップデート研修 16日(金)
10月	北海道HIV/AIDS看護研修会 29日(土)	東北ブロッグHIV/AIDS/RV看護研修 未定 出展研修③ 28日(金)：施設は未定	HIV感染症・エイズ患者の在宅・ 介護の支援体制構築実践研修	医療従事者向けHIV専門外来2日間研修(遠征) 未定	HIV感染症多職種合同研修会 (応用) 29日(日) 東海ブロッグ中核拠点病院ネットワーク会議 同日	訪問看護実践研修会(10月予定)		九州ブロッグエイズ拠点病院研修会 7日(金) HIV/AIDS職員研修(看護6日コース) 17日(月)～28日(金) 地域支援者コース 14日(金)	1週間コース 3日(月)～7日(金) 1ヶ月コース* 9日(月)～28日(金) 地域支援者コース 14日(金)
11月				医療従事者向けHIV専門外来2日間研修(遠征) 未定		看護研修(応用コース) 14日(月)～19日(火)	第11回看護研修のためのエイズ感染症実習研修 3日(水)	福岡HIVネットワーク第39回シンポジウム 日にち未定	1週間コース 4日(金) 全国出張研修 3分所
12月									
1月			北海道・甲信越HIV感染症実践研修 北海道・甲信越ブロッグHIV看護連絡会 14日(土)	看護フォローアップ研修 21(土) HIV感染症・エイズ患者の在宅・介護の支援体制構築 未定				九州HIV看護研修会 日にち未定	短時間研修コース 19日(水)、20日(金) 首都圏出張研修 6箇所
2月									
3月									全国出張研修 3分所(年度内) 首都圏出張研修 6箇所(年度内)

\*研修受講生の希望に配慮したオーダーメイド型研修

\*1ヶ月研修 日曜調整・分習に受け入れ可能

- 2) 木下真里、谷口 紅、杉野祐子、大金美和、池田和子、阿部直美、菊池 嘉、岡 慎一 外国人HIV感染者療養支援・院外機関との連携について 第30回日本エイズ学会総会・学術集会 2016年11月 鹿児島
- 3) 渡邊愛祈、西島 健、高橋卓巳、木村総太、小松賢亮、大金美和、池田和子、照屋勝治、塚田訓久、加藤 温、関由賀子、今井公文、菊池嘉、岡 慎一 cART確立以降の定期通院HIV患者における精神科受診率とその特徴 第30回日本エイズ学会総会・学術集会 2016年11月 鹿児島
- 4) 佐藤恵美、中川裕美子、黒川 仁、丸岡 豊、大金美和、池田和子、菊池 嘉、岡 慎一 当院のHIV感染者における歯科治療と病診連携に関する調査 第30回日本エイズ学会総会・学術集会 2016年11月 鹿児島

### 3. その他

なし

#### 【示説】

(海外)

- 1) Fumiko Kagiura, Megumi Shimada, Teruhisa Fujii, Seiji Saito, Yoshiko Ogawa, Tatsuro Sakata, Kazuko Ikeda, Masayuki Kakehashi Factors for Japanese HIV positive patients to continue medical care 19<sup>th</sup> IUSTI Asia-Pacific Conference (第19回国際性感染症学会アジア太平洋地域) Japan Dec 2016

(国内)

- 1) 杉野祐子、下司有加、城崎真弓、大野稔子、島田 恵、池田和子 中核拠点病院連絡員養成事業におけるHIV感染症看護師の臨床実習とその評価 第10回日本慢性看護学会学術集会 2016年7月 東京
- 2) 高野 操、岩橋恒太、荒木順子、佐久間久弘、木南拓也、生島 嗣、佐藤郁夫、中山保世、小日向弘雄、友成喜代美、土屋亮人、杉野祐子、池田和子、小形幹子、田中和子、市川誠一、菊池 嘉、岡 慎一 医療機関とNGOの連携による郵送検査の手法を用いたHIV検査の取り組み 第30回日本エイズ学会総会・学術集会 2016年11月 鹿児島

#### H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

##### 1. 特許取得

なし

##### 2. 実用新案登録

なし